

新型コロナ 感染拡大つづく



大阪府健康医療部に緊急要請書を提出する大阪自治労連医療部会の古田会長(右)
(4月17日)

大阪自治労連は府に住民のいのちを守る職員の安全確保と職員体制の抜本的強化を求めている(4月10日)

新型コロナ感染拡大が続くなか、緊急事態宣言が5月31日まで延長されました。自治体病院や民間病院など基幹病院といわれるところで院内感染が起きています。患者の受け入れに奮闘し、人員不足のなかで医療現場は限界です。医療崩壊を防ぐために、ただちに防護体制の見直しと強化が必要です。

また、10万円の特別給付金や中小企業、事業者向けの給付金、助成金などの申請手続きなど、非常時の業務が急増し、多くの自治体職場で人員不足が生じています。廃業、解雇などが増え続け、生活援助のための資金も必要です。

いのちを守るたたかい。国や自治体の役割を果たす、そのために命がけでがんばる自治体労働者にエールを送ってください。



職場・地域でがんばる自治体職員にエールを

新型コロナ感染拡大にともない

「大阪自治労連 なんでも相談ホットライン」を開設

☎06-6355-5155

☎06-6355-5156

開設日

5月21日(木) 18:00~20:00

5月22日(金) 18:00~20:00

5月23日(土) 10:00~16:00

手当、休暇、雇用継続
感染リスク、パワハラ...
お気軽に相談ください

おおさか
自治体の仲間

発行：大阪自治労連(大阪自治体労働組合総連合) 2020年5月15日 No.363

〒530-0041 大阪市北区天神橋一丁目13番15号
大阪グリーン会館4階 ☎06-6354-7201 FAX06-6354-7206
E-mail:mado@osaka-jichiroren.jp
URL:http://www.osaka-jichiroren.jp

発行人／有田 洋明 編集人／荒田 功
毎月15日発行(1部10円)組合員の購読料は
組合費に含まれています。

労働組合が大好きです いい仕事 いい職場にしたい

大東市職労 執行委員長 阿島 洋子さん

保育士



委員長になって4年目。組合員や職員の権利や暮らしを守るためにがんばっている阿島委員長です。新型コロナ感染拡大で自治体の対応や役割が高まる中で、労働組合も新たな対応が求められています。保育士として、役員としての思いを聞きました。

自然が好き
体を動かしてリフレッシュ
地域の人からも頼られる
公立保育所にしたい

保育士として採用された一年目、職場では妊産婦の方が多くて、若い人に役員をしてほしいと言われました。「私やります」と手を上げたのですが、先輩から「一年目で何もわからないのに」と止められました(笑)。

ゴールデンウィークは、コロナに感染したら保育園が閉まってしまうので、最低限の買い物と、あとは家の片付けをしていました。私のリフレッシュは体を動かすこと。自然の中を歩いたり、京都を散策したり。ジムで筋トレもします。運動不足解消ですね。

つい最近まで3年間ギター教室にも通いました。知人からギターをいただいたのがきっかけ。今でもたまに弾いたりします。ギターを弾いて肩が凝らなくなりました(笑)。



組合事務所で執務中の阿島委員長

初めから保育に特別強い思いを持っていただけではありません。組合役員をやっていく中で、色々

組合役員を経験する中で
大事な仕事を
していることを実感

そして二年目に保育所支部の役員になりました。子どもが生まれて育児などで組合役員をしていない時期がありますが、その後、保育所支部の書記長をやりました。園庭開放や育児相談など、地域に根ざした保育所にしたいと思いました。

なことを勉強しました。私たちの仕事は、とても大事なことをやっていると感じました。仕事と組合活動を両立させるのは大変ですが、一緒にがんばる仲間がいたから、これまでやってこれたと思います。

大東市職労が大事
市に働く
すべての人のために

保育所支部の役員から中央執行部の役員になる時、特に書記長、そして委員長になる時は考えましたね。中央役員は難しいなど。保育のことが分るけれど、中央役員は市役所全部が対象だし、労働者の権利や労働条件なんかもよく理解していないといけない。だから、私はできることをみんなががんばろうと考えました。要求でつながらないとかかんと思いましたが。たまに、「先生、それ無理です」と言われたら、置いておくこともあります(笑)。

私は組合が好きです。何といても人と人とのつながりが広がり、出合いの喜びがあります。そして学び知る楽しさがあります。自分一人では無理なことでも、みんなと力をあわせればできる。いろんな組合員さんのことを考えて、がんばりたいと思います。